

# 県民公開講座

日程

10月14日(月・祝) 13:00~15:00

会場

下関市生涯学習プラザ 1F 海のホール

〒750-0025 山口県下関市細江町三丁目1番1号

事前申込不要  
入場無料  
定員:800名

第一部

シンポジウム (13:00~14:00)

その情報、信じていいの? ~正しい医療情報の見極め方、検索のポイントとは~

【座長】 吉田 力久 (公益社団法人 日本薬剤師会 常務理事)

【講演】 **最新!健康・医療情報のググリ方  
~検索サイトの仕組みと裏側~**

小林 球一 (株式会社電通メディカルコミュニケーションズ 代表取締役社長)



**医療情報を味方につけるポイント**

北澤 京子 (医療ジャーナリスト/京都薬科大学 客員教授)



**“この薬、飲んだら危ない?!”の悩み、  
薬剤師が解決します**

堀越 博一 (公益社団法人 日本薬剤師会 理事)



第二部

特別講演 (14:00~15:00)

【座長】 内田 豊

(一般社団法人 山口県薬剤師会 副会長/山口大学医学部附属病院 薬剤部 副薬剤部長)

【講演】 **「知っておきたい!クスリについての基本知識」  
~お薬と上手につきあうために~**

古川 裕之

(医療安全システムデザイナー/前山口大学大学院 医学研究科 教授・同大学医学部附属病院 薬剤部長)



主催 公益社団法人日本薬剤師会/一般社団法人山口県薬剤師会/山口県 共催 一般社団法人くすりの適正使用協議会/日本製薬工業協会 後援 下関市

[運営事務局] 第52回日本薬剤師会学術大会 運営事務局 日本コンベンションサービス株式会社 九州支社

〒810-0002 福岡県福岡市中央区西中洲12-33 福岡大同生命ビル7階 TEL 092-712-6201/FAX 092-712-6262 E-mail:jpa52@convention.co.jp

# 県民公開講座 ご講演内容

## 第一部

### シンポジウム (13:00~14:00)

#### 「その情報、信じていいの? ~正しい医療情報の見極め方、検索のポイントとは~

##### 最新! 健康・医療情報のググリ方 ~検索サイトの仕組みと裏側~

株式会社電通メディカルコミュニケーションズ 代表取締役社長 小林 球一

スマートフォンやパソコンの普及により、グーグルやヤフー等の画面にアクセスすることで、情報検索が容易に可能となった。これは大変便利な機能であるため、多くの人々が活用しており、人々の生活の行動パターンや購買行動等にまで影響を及ぼしている。一方でグーグルやヤフーのビジネスモデルを理解していたり、認識しながら検索をしている人は少ないと思われる。聴講者に対して、検索サイトが広告ビジネスと大きく関連していることやそこに仕込まれている広告ビジネスの仕組み等をご理解頂き、より適切に健康関連情報の検索ができるための一助としたい。

#### 医療情報を味方につけるポイント

医療ジャーナリスト/京都薬科大学 客員教授 北澤 京子

インターネットの普及に伴い、膨大な情報を簡単に手に入れることができるようになった。健康や医療に関する情報も例外ではない。しかし残念ながら、そうして入手した情報には、信頼のおけるものから怪しげなものまで、さまざまな情報が混在しているのが実情である。不確かな情報をうのみにして不要な商品やサービスを買わされたり、それを使って健康を害したりしないように、私たち一人ひとりが、日ごろから健康・医療情報を見極め、取捨選択する知恵を持ちたいものだ。EBM(根拠に基づく医療)の考え方を土台にしつつ、一般市民が健康・医療情報を見極めるためのポイントをお伝えする。

#### “この薬、飲んだら危ない?!”の悩み、薬剤師が解決します 公益社団法人 日本薬剤師会 理事 堀越 博一

近年、健康意識の高まりから医薬品や健康法などを取り扱う雑誌やテレビ番組が散見され、また、ウェブ検索等で情報を得るケースも増えている。その中でも「〇〇を飲んではいけない!」などの過激なタイトルが週刊誌などの表紙に踊る。でも、ちょっと待って!本当にその記事に載っているあなたのお薬を勝手に飲むのをやめてしまっても良いのだろうか?また、健康に良さそうなサプリメント。自己判断で飲んでしまっても良いのだろうか?消費者が正しい判断に至るまでの支援に薬剤師を活用するベネフィットについて紹介する。

## 第二部

### 特別講演 (14:00~15:00)

#### 「知っておきたい! くすりについての基本知識」~お薬と上手につきあうために~

医療安全システムデザイナー/前山口大学大学院 医学研究科 教授・同大学医学部附属病院 薬剤部長 古川 裕之

どのような領域であれ、専門的なことを理解するのは簡単なことではありません。だからと言って、すべてを専門家にまかせてしまうというのは、考えものです。基本的な「知識」を身につけることは、自分自身を守るために必要なことであり、“安心”につながります。

ここでは、病気の治療のために「くすり」を飲まれている方、あるいは、今後、「くすり」のお世話になる方にとって、知っていただきたい「くすり」についての基本的なことを、具体的な例をあげながら、わかりやすくお話しします。お話しする主な内容は、次のものです。

- (1) アルコール飲料から学ぶ「くすり」の効き方について
- (2) 「くすり」を飲んでいるときに、注意しなければならないこと
- (3) 「くすり」と「サプリメント」の違いについて
- (4) 自分を守るための「おくすり手帳」の使い方
- (5) 「くすり」についての“なぜ?”と“どうして?”

・病院からもらう「くすり」とドラッグストアで買う「くすり」のちがいは?

・どうして、「くすり」によって飲む回数がちがうの?

・他の「くすり」と一緒に飲むとダメなときがあるのはなぜ?

・「くすり」の有効期限は、どのように決められているの?

・「ジェネリック医薬品」がない「くすり」があるのはなぜ? など この機会に、皆様に「くすり」についての基本的なことを理解していただき、「くすり」を正しく使うことにより、一日でも早い健康回復や健康維持につながることを願います。